

本文

これも今は昔、絵仏師良秀と①いふ②ありけり。家の隣より、火③出で来て、風④おしおほひて⑤せめければ、⑥逃げ出でて、大路へ出でにけり。人の書かする仏も

⑦おはしけり。また、衣⑧着ぬ妻子なども、さながら内に⑨ありけり。⑩それも

⑪知らず、ただ逃げ出でたるをことに⑫すて、向かひのつらに立てり。

問題

- 一、①「いふ」の下に省略されている体言を答えなさい。
- 二、②「あり」③「出で来」⑦「おはし」⑧「着」の活用の行、活用の種類を答えなさい。
- 三、④「おしおほひ」は歴史的仮名遣いで記されている。現代仮名遣いに直しなさい。
- 四、⑤「せめければ」とあるが、何が何に迫ったのか。説明しなさい。
- 五、⑥「逃げ出で」⑨「あり」⑪「知ら」の活用形を答えなさい。
- 六、⑩「それ」とは何を指すか。現代語で答えなさい。
- 七、⑫「す」は終止形で記されている。文法事項に従って適切な形に直しなさい。

解答欄

七 ⑫	六 ⑩	五 ⑥	四	三 ④	二		一 ①
		形			行	行	
		⑨			活用	活用	
		形			⑧	③	
		⑪			行	行	
		形			活用	活用	